

# 住民意識アンケート 結果報告

(平成26年1月実施分)

那珂川町が実施している取り組みやサービスに対する住民の皆さま（町内にお住まいの18歳以上の人から無作為で2,000人）の満足度や必要度を把握することで、今後のまちづくりに活かしていくことを目的として住民意識アンケートを実施しました。ご回答いただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。

皆さまからのご回答を集計しましたので報告します。

○調査期間 平成26年1月8日～平成26年1月24日

○総配布数 2,000通

○回収総数 700通

○回収率 35.1% ※回収率はあて先不明等により返戻があったもの(6通)を除いた割合で算出。

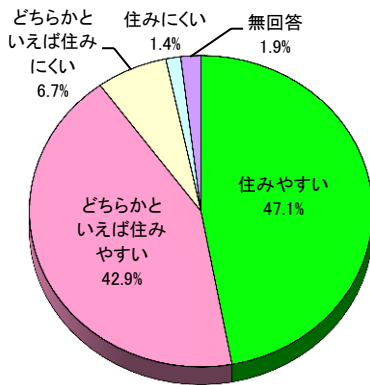
## ◆回答者の属性◆ 【性別・年齢別・校區別母集団数（18歳以上）及び回収数】

	人口数(人)	割合(%)	回収数	割合(%)
☆男女別				
男性	18,998	48.1	276	39.5
女性	20,508	51.9	407	58.1
不明	—	—	17	2.4
合計	39,506	100	700	100
☆年齢別				
18歳～29歳	6,023	15.2	60	8.6
30歳～39歳	7,352	18.6	101	14.4
40歳～49歳	7,537	19.1	116	16.6
50歳～59歳	5,801	14.7	110	15.7
60歳～69歳	6,658	16.9	157	22.4
70歳以上	6,135	15.5	147	21.0
不明	—	—	9	1.3
合計	39,506	100	700	100
☆校區別				
南畑校区	1,686	4.3	30	4.3
岩戸校区	4,157	10.5	76	10.9
岩戸北校区	8,401	21.3	124	17.7
片縄校区	6,686	16.9	131	18.7
安徳校区	4,137	10.5	134	19.1
安徳北校区	8,176	20.7	85	12.1
安徳南校区	6,263	15.9	72	10.3
不明	—	—	48	6.9
合計	39,506	100	700	100

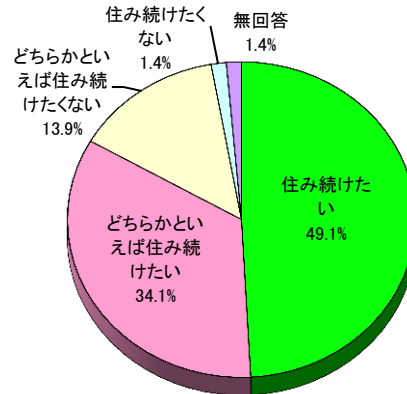
○集計について

割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

○那珂川町は住みやすいですか



○那珂川町に住み続けたいと思いますか



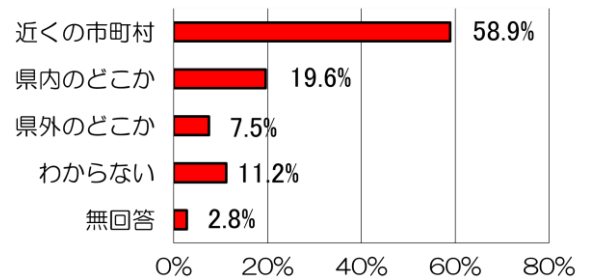
「那珂川町に住み続けたいと思いますか」という質問に対して「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」と回答された方にお聞きしました。

※「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」と回答された107人中の回答です。

○その主な理由は何ですか（3つまで選択可）

福岡都心部へのアクセス（交通手段）がわるい	54人
税金や公共料金が高い	45人
大型商業施設がなく買い物に不便	37人
総合病院などの医療体制が不十分	35人
町に魅力を感じない	30人
福祉サービスが不十分	16人
子育てしやすい制度や環境が不十分	10人
生活道路などの整備が不十分	9人
防災防犯上の不安	6人
運動施設などの整備が不十分	6人
就職がない	5人
教育環境が不十分	3人
文化施設などの整備が不十分	3人
その他	7人

○移り住むとしたらどこですか



那珂川町の22の取り組み（政策）の満足度および必要度についてお聞きしました。各取り組み（政策）の満足度および必要度は、次のとおり計算し点数化（1点から5点）しています。点数が5点に近いほど満足度、必要度が高いことになります。集計結果については次のページ以降をご覧ください。

【満足度・必要度の計算式】

$$\text{満足度・必要度} = \frac{a \times 5\text{点} + b \times 4\text{点} + c \times 3\text{点} + d \times 2\text{点} + e \times 1\text{点}}{\text{有効回答者数}^{\ast}}$$

a：「満足」「必要」と回答した人数

b：「やや満足」「やや必要」と回答した人数

c：「ふつう」と回答した人数

d：「やや不満」「あまり必要でない」と回答した人数

e：「不満」「必要でない」と回答した人数

※有効回答者数・・・「無回答」や「多重記載」を集計から除外した回答者数

# 満足度順 一覧表

# 必要度順 一覧表

大綱	取組の組み(政策)の名称	満足度		必要度	
		順位	点数	順位	点数
大綱1 自然との共生を図るまちづくり	1 自然環境を保全する	2位	3.46	5位	4.25
	2 環境を守る基盤と体制を整備する	1位	3.52	7位	4.20
	3 地域資源を活かした産業を育成する	22位	2.83	13位	4.03
	4 人権意識を高揚する	9位	3.12	21位	3.64
	5 人権意識を育む	10位	3.12	22位	3.59
	6 男女共同参画を推進する	13位	3.10	20位	3.69
	7 子ども個性や長所・学力を伸ばす	12位	3.11	10位	4.07
	8 すべての住民に開かれた活動の場をつくる	7位	3.17	17位	3.86
	9 人や郷土を大切にすることを育む	6位	3.21	19位	3.82
	10 まちづくりを支える人材・組織を育成する	14位	3.08	15位	3.92
大綱2 人と人とのつながり、コミュニティを大切にするまちづくり	11 公共施設を核としたコミュニティを形成する	11位	3.11	18位	3.84
	12 安全な生活を確保するための体制をつくる	17位	3.03	6位	4.21
	13 安全に暮らすための基盤を整備する	4位	3.30	2位	4.30
	14 高齢者が安心して暮らせる環境を整備する	15位	3.04	3位	4.27
	15 子育て家庭を支える仕組みを充実する	21位	2.90	4位	4.25
	16 障がい者(児)の暮らしを支える仕組みを充実する	19位	2.92	8位	4.15
	17 住民の健やかな暮らしを支援する	16位	3.04	11位	4.03
	18 安心で快適な生活基盤を整備する	18位	3.01	1位	4.36
	19 快適に暮らすための生活環境を整備する	5位	3.26	9位	4.14
	20 効率的な行政の運営と安定的な財源を確保する	20位	2.92	12位	4.03
大綱5 生活基盤の豊かさを実感できるまちづくり	21 住民ニーズにあったサービスを提供する	8位	3.15	14位	3.95
	22 誰もがわかりやすい町政運営を図る	3位	3.31	16位	3.92

(注) 「満足度」「必要度」は、点数第3位を四捨五入した数値を示しています。

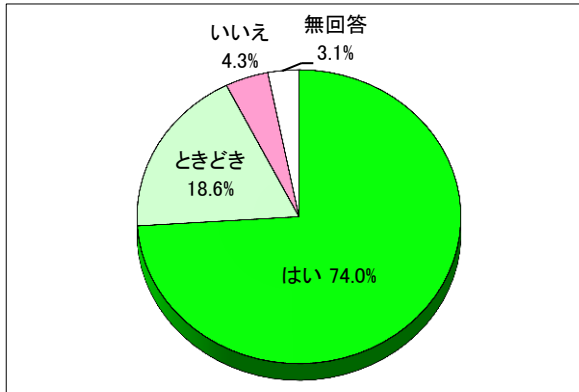
# 満足度・必要度 一覧表

満足度		必要度	
政務番号	取組(政策)の名称	政務番号	取組(政策)の名称
グラフ		グラフ	
3.52	2 環境を守る基盤と体制を整備する	1位	18 安心で快適な生活基盤を整備する
3.46	1 自然環境を保全する	2位	13 安全に暮らすための基盤を整備する
3.31	22 誰もがわかりやすい町政運営を図る	3位	14 高齢者が安心して暮らせる環境を整備する
3.30	13 安全に暮らすための基盤を整備する	4位	15 子育て家庭を支える仕組みを充実する
3.26	19 快適に暮らすための生活環境を整備する	5位	1 自然環境を保全する
3.21	9 人や郷土を大切にすることを涵養する	6位	12 安全な生活を確保するための体制をつくる
3.17	8 すべての住民に開かれた活動の場をつくる	7位	2 環境を守る基盤と体制を整備する
3.15	21 住民ニーズにあったサービスを提供する	8位	16 障がい者(児)の暮らしを支える仕組みを充実する
3.12	4 人権意識を高揚する	9位	19 快適に暮らすための生活環境を整備する
3.12	5 人権意識を育む	10位	7 子どもの個性や長所・学力を伸ばす
3.11	11 公共施設を核としたコミュニティを形成する	11位	17 住民の健やかな暮らしを支援する
3.11	7 子どもの個性や長所・学力を伸ばす	12位	20 効率的な行政の運営と安定的な財源を確保する
3.10	6 男女共同参画を推進する	13位	3 地域資源を活かした産業を育成する
3.08	10 まちづくりを支える人材・組織を育成する	14位	21 住民ニーズにあったサービスを提供する
3.04	14 高齢者が安心して暮らせる環境を整備する	15位	10 まちづくりを支える人材・組織を育成する
3.04	17 住民の健やかな暮らしを支援する	16位	22 誰もがわかりやすい町政運営を図る
3.03	12 安全な生活を確保するための体制をつくる	17位	8 すべての住民に開かれた活動の場をつくる
3.01	18 安心で快適な生活基盤を整備する	18位	11 公共施設を核としたコミュニティを形成する
2.92	16 障がい者(児)の暮らしを支える仕組みを充実する	19位	9 人や郷土を大切にすることを涵養する
2.92	20 効率的な行政の運営と安定的な財源を確保する	20位	6 男女共同参画を推進する
2.90	15 子育て家庭を支える仕組みを充実する	21位	4 人権意識を高揚する
2.83	3 地域資源を活かした産業を育成する	22位	5 人権意識を育む

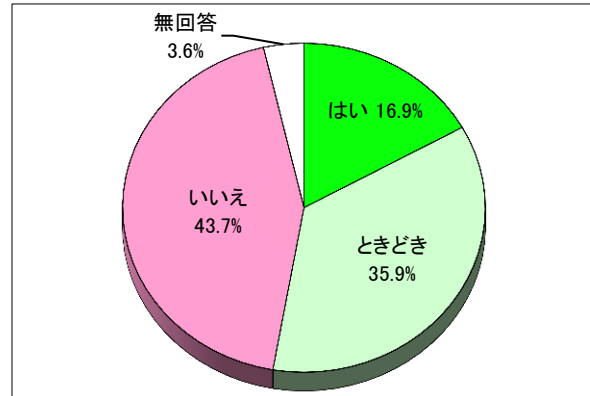
(注意) 「満足度」は、点数化する際に小数点第3位を四捨五入した数値を表示しています。

日常生活における事項についての回答は次のとおりでした。

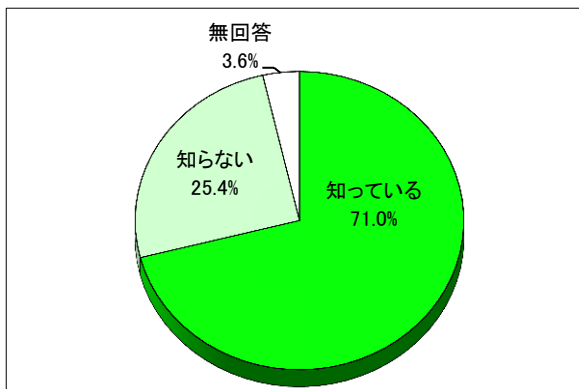
1. 食料品などは主に町内で買い物をしますか



2. 食料品を買うとき、那珂川町産を意識しますか



3. 町民情報ステーションで、平日の夜や土曜日、日曜日に住民票などの証明書を申請できることを知っていますか



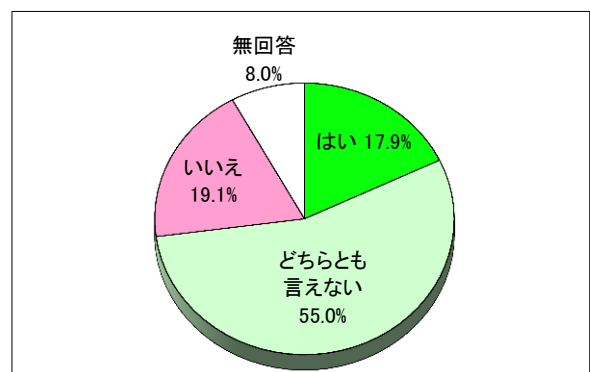
4. 福岡女子商業高校で住民向け講座を実施していることを知っていますか  
(複数回答可)

(700人中)	
パソコン講座	179人 (25.6%)
珠算初級講座	50人 (7.1%)

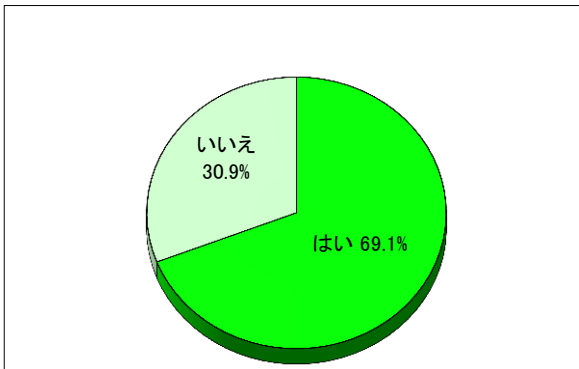
5. 福岡女子商業高校で受講してみたい又は興味がある講座は何ですか  
(複数回答可)

(700人中)	
パソコン講座	211人 (30.1%)
書道講座	122人 (17.4%)
英会話講座	108人 (15.4%)
ヤーコン料理講座	41人 (5.9%)
珠算講座	17人 (2.4%)

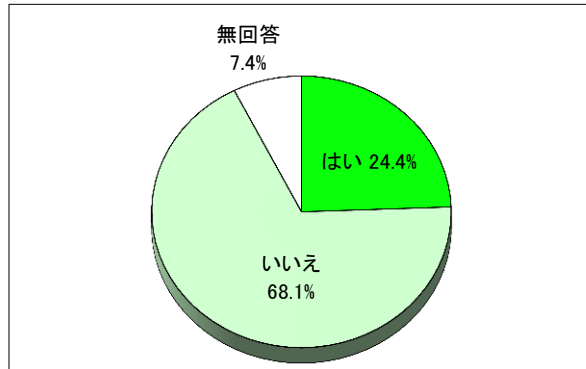
6. 周囲の人や街の環境に子育てを支援する気運や雰囲気を感じますか



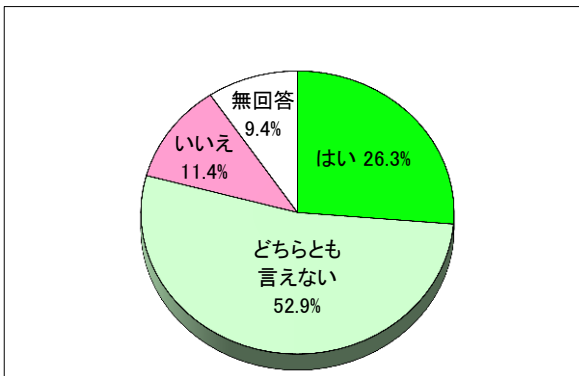
7. 子育て支援センターや保健センターなど町の育児相談の窓口を知っていますか（18歳未満の子どもがいる場合のみ回答）



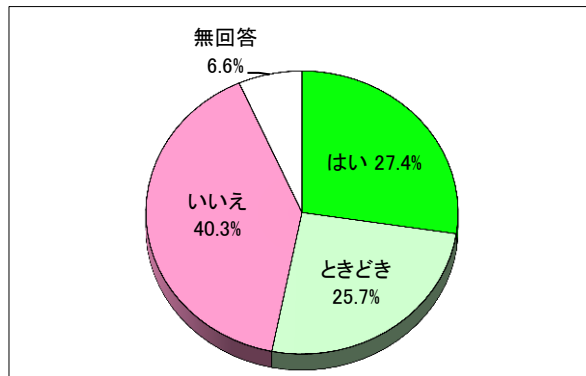
8. 虐待を受けていると思われる児童を発見した時の通報先を知っていますか



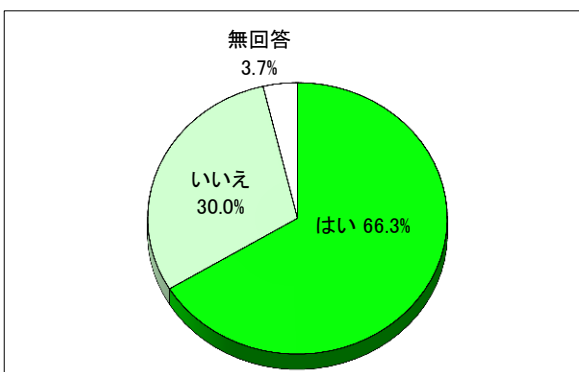
9. 協働のまちづくりについて興味がありますか



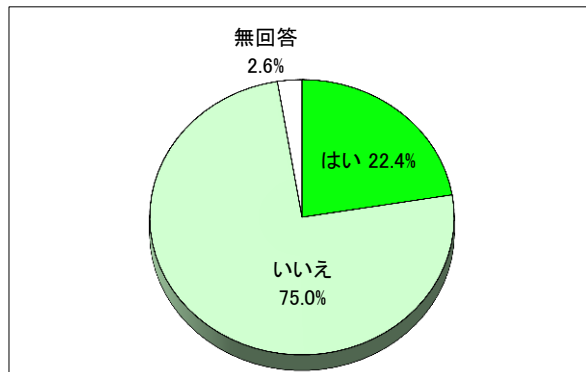
10. 文化・スポーツ活動を行うとき、主に町内で活動していますか



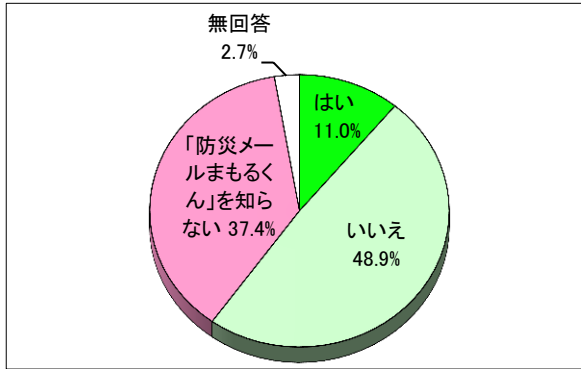
11. 定期的に健康診査を受けていますか



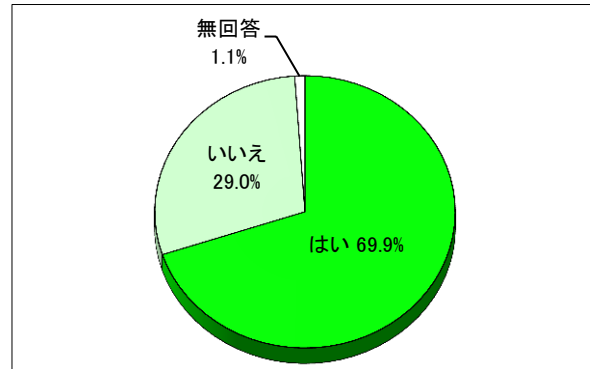
12. マイヘルスプラン（健康行動計画）を知っていますか



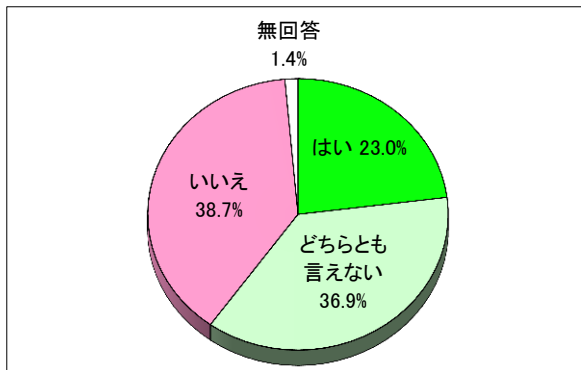
13. 「防災メールまもるくん」を登録していますか



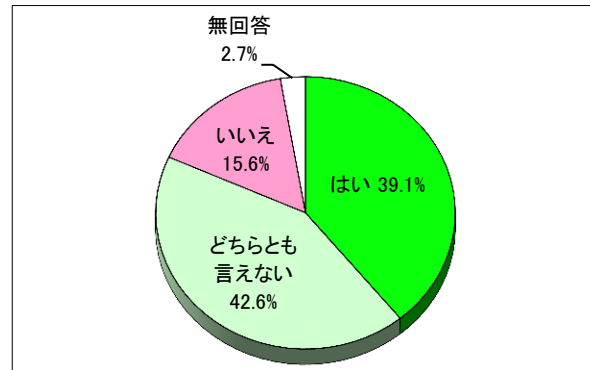
14. 災害時に避難する場所を知っていますか



15. 住居周辺の防犯灯は十分だと思えますか



16. 日常生活の中で、人権を意識しますか



17. 人権に関する取り組みに参加したことがありますか（複数回答可）

(700人中)

研修会や講演会	204人 (29.1%)
人権フェスタなかがわ	156人 (22.3%)
恵子児童館子どもまつり	81人 (11.6%)

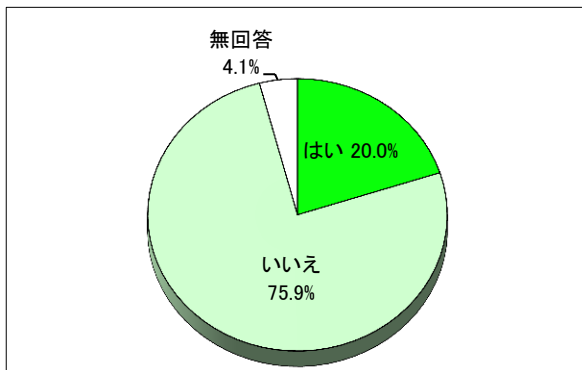
18. 町の人権に関する啓発冊子や条例等を知っていますか（複数回答可）

(700人中)

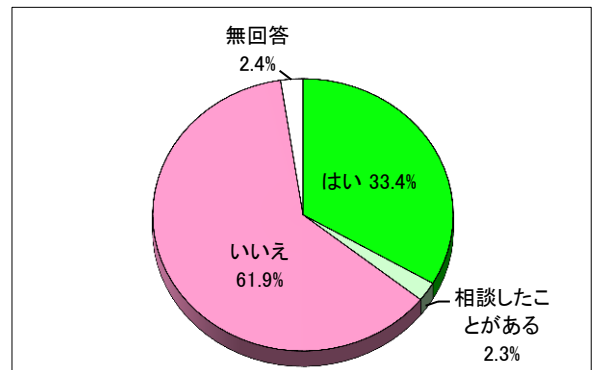
人権カレンダー	425人 (60.7%)
あしたへ生きる	180人 (25.7%)
人権・同和問題特集号	128人 (18.3%)
那珂川町人権を尊ぶまちづくり条例	73人 (10.4%)
男女共同参画啓発冊子（パートナー21）	55人 (7.9%)
男女共同参画推進条例	79人 (11.3%)
男女共同参画宣言都市	81人 (11.6%)



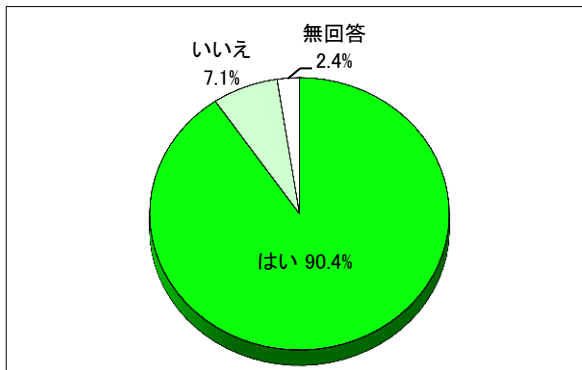
19. ちくし女性ホットライン（筑紫地区4市1町で実施している女性に関する相談事業）を知っていますか



20. 高齢者の相談総合窓口「地域包括支援センター」を知っていますか

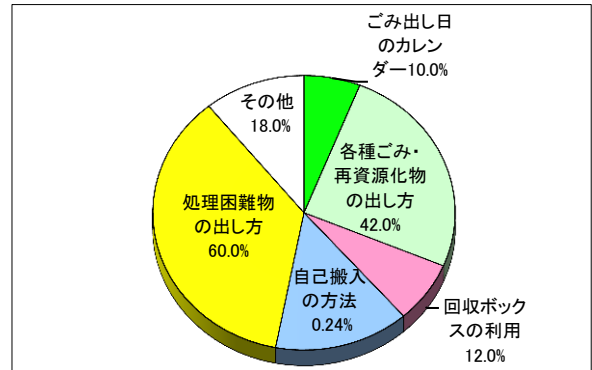


21. ごみ出しカレンダーについて、わかりやすいものになっていますか

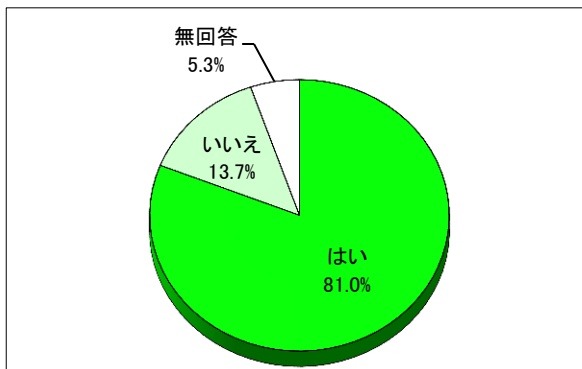


22. 21. で「いいえ」と回答した人が カレンダーでわかりにくい箇所

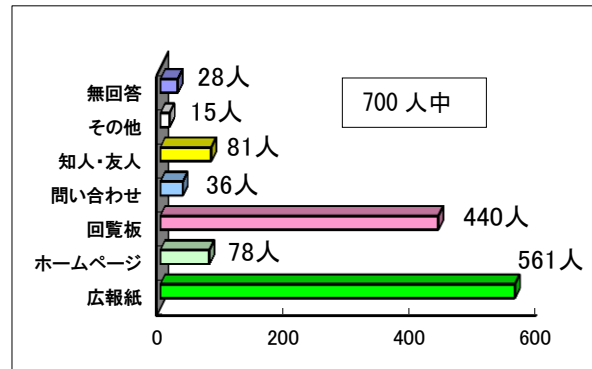
※いいえと回答した 50 人に対する割合。



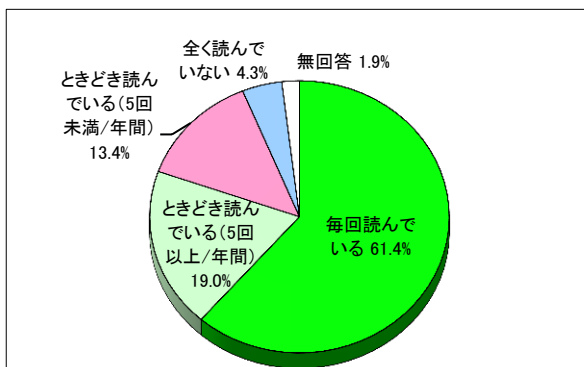
23. 町から届く情報はわかりやすいものとなっていますか



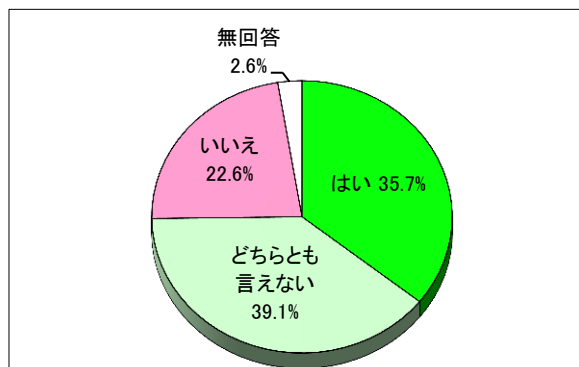
24. 町が行っている取り組みについて、どのような手段で情報を入手していますか（複数回答可）



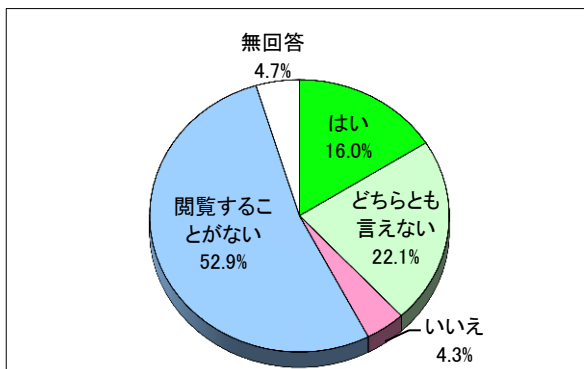
25. 広報なかがわをどのくらい読んでいますか



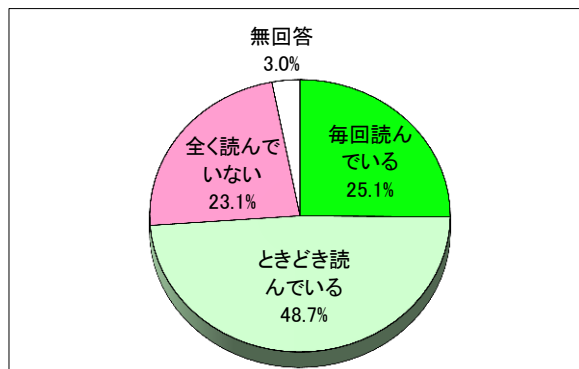
26. 広報なかがわの掲載内容に満足していますか



28. 町ホームページは閲覧しやすいですか



30. 議会だよりをどのくらい読んでいますか



那珂川町役場 総務部 経営企画課 経営管理担当  
 電話 953-2211 (内線 225・226)  
 Fax 953-0688  
 E-mail kikaku@town.nakagawa.fukuoka.jp